

夏休み太陽電池教室（COC+事業） ～太陽電池で遊ぼう～

舞鶴工業高等専門学校

実施日 平成30年7月22日

実施場所 舞鶴高専
地域共同テクノセンター

内海 淳志
石川 一平

実施内容

平成30年7月22日（日）午前中に、舞鶴高専の地域共同テクノセンターを利用して、公開講座「夏休み太陽電池教室 ～太陽電池で遊ぼう～」を開催しました。この公開講座はCOC+事業の一環で行いました。担当は内海准教授、石川准教授で、この公開講座の準備と実施には電気情報工学科5年生2名と専攻科電気電子システム工学コースの2年生1名に協力してもらいました。

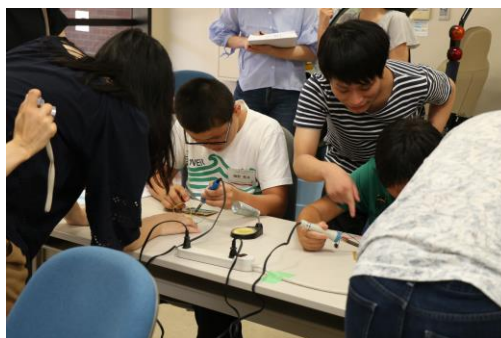
今回の公開講座は、太陽電池のしくみを学んで、どのようにすれば多く発電できるのかを実験で確かめることが目的でした。太陽電池のしくみを学習した後、テスタを使用して発電を体験しました。また、太陽電池の準備でははんだ付けにも挑戦しました。この日は晴天で非常に日射量の高い状態で太陽電池の発電測定を行うことができました。2時間の公開講座でしたが、いろいろな体験をしながら、太陽電池に対する理解を深めてもらえたと思います。

公開講座当日は、主に舞鶴市に在住の小学生10名とその保護者の参加がありました。はんだ付けやテスタを使った測定など初めての体験が多く、とまどう場面もありましたが、親子で熱心に取り組んでいただき無事に講座を終えることができました。

講座終了時には、夏休みの工作が話題となり、「ソーラーカーを作りたい」、「扇風機の弱・中・強を作る」等の発言があり、今回の公開講座をきっかけとして、より一層ものづくりに興味を持ってもらえたものと思います。



■ 説明の様子



■ はんだ付けの様子



■ 測定の様子



■ 扇風機の実験